学校番号	3001

令和５年度　環境緑化科

教科	農業	科目	総合実習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	造園「造園計画」「環境緑化材料」「造園技術」　（文部科学省）						
	「見たい、知りたい！日本庭園」（三笠書房）「五感で楽しむ樹木図鑑」（ナツメ社）						

1　担当者からのメッセージ

本科の専門科目に関連した造園や環境分野の知識と技術に関する科目です。課外授業を通じて農業クラブ活動、校外実習、資格取得など、普通時の授業では実施できない学習活動や授業の補完を目的に設定されている科目で、授業形態は多様です。

2　学習の到達目標

・造園や環境分野に関する総合的な知識と技術を習得する。
・校外実習や資格取得などを通じてより専門性の高い知識・技能を習得する。
・造園や環境分野の改善を図る実践的な能力と態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・技能
観点の趣旨	造園や環境分野における専門技術と経営管理に関心をもち、その改善・向上をめざして主体的に取組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	造園や環境分野における専門技術と経営管理に関する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、課題を適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	造園や環境分野に関する基本的な技術を身に付け、生産や経営管理を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	造園や環境分野おける基礎的・基本的な知識を身に付け、生産や経営管理における知識や技術の体系を理解している。
評価方法	学習状況の観察 実習記録簿 レポート 自己評価等	学習状況の観察 実習記録簿 レポート 農業クラブ発表会 自己評価等	学習状況の観察 実習記録簿 農業クラブ級位検定 自己評価等	学習状況の観察 実習記録簿 レポート 自己評価等
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	専門技術総合実習	造園や環境の知識と技術	○		○		a:時季に応じた専門技術と経営管理に関心を持ち、意欲的に学習に取組もうとしている。 b:時季に応じた専門技術と経営管理における諸課題を発見し、その改善を図るために思考を深め判断・表現している。 c: 時季に応じた専門技術と経営管理について基本的な技術を身に付け、その技術を活用している。 d: 時季に応じた専門技術と経営管理について理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。	学習状況の観察 実習記録簿 レポート 農業クラブ発表会 自己評価
	施工・管理総合実習	管理・施工技術の知識と技術	○	○				
	学校農業クラブ活動	各種発表会への参加	○	○				
	見学実習	京都等の名園見学	○	○		○		
	各種資格取得	講習会・検定・学習会	○	○		○		
2学期	専門技術総合実習	造園や環境の知識と技術	○		○		a:時季に応じた専門技術と経営管理に関心を持ち、意欲的に学習に取組もうとしている。 b:時季に応じた専門技術と経営管理における諸課題を発見し、その改善を図るために思考を深め判断・表現している。 c: 時季に応じた専門技術と経営管理について基本的な技術を身に付け、その技術を活用している。 d: 時季に応じた専門技術と経営管理について理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。	学習状況の観察 実習記録簿 レポート 農業クラブ級位検定 自己評価
	経営管理総合実習	経営管理の知識と技術	○	○				
	学校農業クラブ活動	級位検定			○	○		
	見学実習	京都等の名園見学	○	○		○		
3学期	専門技術総合実習	造園や環境の知識と技術	○		○		a:時季に応じた専門技術と経営管理に関心を持ち、意欲的に学習に取組もうとしている。 b:時季に応じた専門技術と経営管理における諸課題を発見し、その改善を図るために思考を深め判断・表現している。 c: 時季に応じた専門技術と経営管理について基本的な技術を身に付け、その技術を活用している。 d: 時季に応じた専門技術と経営管理について理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。	学習状況の観察 実習記録簿 レポート 自己評価
	経営管理総合実習	経営管理の知識と技術	○	○				
	学校農業クラブ活動	プロジェクト活動のまとめ	○	○				

※表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。